

## 地中海研究所・研究員紹介

### 研究所概要

本研究所は早稲田大学プロジェクト研究所の一つである。古代から現代までの地中海地域の文明の研究を目的とする。古代ギリシア・ローマ世界・ビザンツ世界・ルネサンス世界・近現代の地中海周辺地域の歴史・思想・宗教・美術・文学・音楽・科学を研究対象とする。地中海周辺地域とはヨーロッパ・近東・北アフリカを含む地域を意味している。(研究所 URL: [http://www.waseda.ac.jp/projects/med\\_inst/index.html](http://www.waseda.ac.jp/projects/med_inst/index.html))

### 研究員

小林雅夫(所長・早稲田大学文学部教授)

専門分野: ギリシア・ローマ史

主要刊行物:

#### 論文

“La cultura classica occidentale nelle Università giapponese”, ACME 52.1, pp. 161-169, Università di Milano, 1999

“I medici nelle epigrafi”, ACME 52.3, pp. 149-253, Università di Milano, 1999

「ローマの奴隷教育: 再考」『文学研究科紀要 44』pp. 3-19, 早稲田大学 1999 年

「ローマの医師と碑文」『文学研究科紀要 45』pp. 33-38, 早稲田大学 2000 年

「日本の大学における西洋古典研究」『西洋史論叢 22』pp. 1-7, 早稲田大学 2001 年

「ローマの軍隊と軍医制度」『軍事史学 37 巻 1 号』pp. 30-50, 2001 年

#### 訳書

グウィン著『古典ヒューマニズムの形成』創文社 1974 年

ピーター・レーヴィ著『古代のギリシア』朝倉書店 1984 年

コーネル/マシューズ著『古代のローマ』朝倉書店 1985 年

#### 監修

ライオネル・カッソン著『古代の旅の物語』原書房 1998 年

引地正俊（早稲田大学文学部教授）

専門分野：西洋古典文学

主要刊行物：

共著

「文学論序説」冬樹社

訳書

アキレウス・タティオス「レウキッペーとクレイトポーン」筑摩書房

論文

「アキレウス・タティオスの小説構成上の一問題」

「ラフカディオ・ハーンとギリシャ詩」

「坪内逍遙のギリシャ古典劇研究」

「マルシュアースとアポローン　　ワイルドとギリシャ」

野口洋二（早稲田大学文学部教授）

専門分野：ヨーロッパ中世史

主要刊行物：

著書

『グレゴリウス改革の研究』創文社 1978 年

編著

『西洋の歴史（古代・中世篇）』ミネルヴァ書房 1988 年

訳書

フリシュ著『叙任権闘争』創文社 1972 年

ハスキンス著『十二世紀ルネサンス』創文社 1985 年

ドーソン著『中世ヨーロッパ文化史』（共訳）創文社 1993 年

ジャック・ヴェルジェ著『入門十二世紀ルネサンス』創文社 2001 年

市川慎一（早稲田大学文学部教授）

専門分野：フランス文学

主要刊行物：

主著

『百科全書派の世界』世界書院 1995 年

共編著

『ジャン＝ジャック・ルソー：政治思想と文学』早稲田大学出版部 1993 年

“Ici et ailleurs : le dix-huitième siècle au Présent / Mélanges offerts à Jacques Proust”, France-Tosho, 1996

論文

「フランスの外のフランス語文化（その1） - アカディアン人の歴史と文化 - 」『語研フォーラム』第12号（2000.3）pp. 117-127

「比較翻訳論の試み - フランス人の翻訳観を中心に - 」『早稲田大学語学研究所紀要』第55号（2000.3）pp. 21-40

“Les problemes de la traduction et la modernite japonaise”, Cahiers internationaux de symbolisme, Nos. 92-93-94, 1999

菅田茂昭（早稲田大学語学研究所教授）

専門分野：ロマンス語学

主要刊行物：

論文

“Fattori mediteranei negli esiti romanzi? A proposito del cambiamento C>G in posizione iniziale”, Atti del XXI Congresso Internazionale di Linguistica e Filologia Romanza (Palermo 18-24 settembre 1955) Niemeyer, IV, 1998年11月

“Aspetti problematici della lessicalizzazione nelle lingue, Sintassi storica”, Atti del xxx Congresso Internazionale delle Societa di Linguistica Italiana, Pavia 1996/Bulzoni, Roma, SLI39 (83-89), 1998年3月

分担執筆

「新言語学」、「イタリアの言語学」、「言語学大辞典」、三省堂6（742-745）1996年1月

遠山一郎（早稲田大学文学部教授）

専門分野：ギリシア・ラテン語学

主要刊行物：

共編著

「ロマンス語学年表」早大語学教育研究所『紀要』別冊1 1985年

共著

『公開講座 ロマンス語』早大語学教育研究所 1992年

訳書

『ラテン語の歴史』（共訳）文庫クセジュ（白水社）2001年

論文

「ラテン語完了言法の発達 II ブラウトウス」『ヨーロッパ文学研究』27 早大文学部 1979年

「ラテン語動詞接頭辞 com- (プラウトウス)」『早大文学研究科紀要』38 1993 年  
「与格の三つの意味値について」『Études françaises』2 早稲田大学 1995 年

### 丸野 稔 (早稲田大学文学部教授)

専門分野：ギリシア哲学

主要刊行物：

著書

『テオフラストスの形而上学』創文社 1988 年

訳書

ニルソン 『ギリシア宗教史』(共訳) 創文社 1992 年

論文

「アリストテレスの知覚統合論」早大文研紀要 39 1993 年

「形相受容としての認識理論」早大文研紀要 40 1994 年

「ヌース再考」フィロソフィア 84 1996 年

### 森原 隆 (早稲田大学文学部教授)

専門分野：フランス史

主要刊行物：

論文

「フランス啓蒙時代のフィロゾーフ像」『史林』1982 年

「18 世紀ボルドーにおける知識人社会とモンテスキュー」(樋口謹一編『モンテスキュー研究』所収) 白水社 1984 年

『『トレヴー誌』とフランス絶対王政期のジャーナリズム』『西洋史学』1985 年

「一七七〇年代フランス・モープー期の『ガゼット』改革をめぐる」『金沢大学文学部論集』1998 年

「絶対王政下の新聞と政治報道」(服部春彦・谷川稔編『フランス史からの問い』所収) 山川出版社 2000 年

### 大高保二郎 (早稲田大学文学部教授)

専門分野：スペイン美術史

主要刊行物：

著書

『ピカソ 戦争と平和』ピカソ美術館 4 集英社 1992 年

訳書

ピエール・ガッシー『ゴヤ全素描』(共訳) 全 2 巻 岩波書店 1980 年

パラウ・イ・ファブレ 『不滅のピカソ』(共訳)平凡社 1983年

論文

「ベラスケス作《ラス・メニーナス》 - 主題と構想をめぐって - 」『美術史』110号 1981年 pp. 113-129

“En torno al tema y composicion de Las Meninas de Velazquez”, en: Boletin del Museo del Prado, n. 24, 1987, pp. 163-166

「エル・グレコのイタリア美術批評 - クレタ、ヴェネツィア、ローマ、トレドを結ぶ眼」『SPAZIO』50号 1994年 pp. 7-28

「ピカソ、「磔刑」図像の生成と変貌 - 《ダンス》から《磔刑》、《ゲルニカ》へ - 」『美術史研究』35冊 1997年 pp. 1-24

「封印された野望 ベラスケス 平民から貴族へ」『西洋美術研究』4号 2000年 pp. 45-65

「ベラスケス作《彫刻家モンタニエースの肖像》をめぐるとの問題 - “パラゴン”の超克へ - 」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』第47輯 第3分冊 2002年 pp. 105-133

酒井紀幸 (早稲田大学文学部助教授)

専門分野：ルネッサンス哲学

主要刊行物：

解題論文

「『知恵の狩猟について』とクザーヌスの思惟の方法」『キリスト教神秘主義著作集 10 クザーヌス』pp. 318-330 2000年

論文

「クザーヌスにおける signum と apparitio」『フィロソフィア』87号 pp. 51-65 2000年

訳書

『知恵の狩猟について』(共訳)『キリスト教神秘主義著作集 10 クザーヌス』pp. 133-252, 267-300 2000年

宮城徳也 (早稲田大学文学部助教授)

専門分野：ギリシア・ローマ文学

主要刊行物：

論文

「十六世紀祝婚歌のヘレニズム」『ほらいずん』1987年

「牧人の恋の嘆き - 「恋の薬は歌のみ」をめぐって - 」「ほらいずん」1989年  
「祝婚歌の伝統と革新 - スタティウスとクラウディアンウス - 」「西洋古典論  
集」1994年

「セネカの悲劇「狂えるヘルクレス」における uirtus の変容」『西洋古典学研  
究』1995年

「伝統の断絶と復興 - ヨハネス・セクンドウスの祝婚歌をめぐって」『マー  
ジナリア 隠された文学 / 隠れた文学』(鶴見書店 1999年)所収

#### 訳書

「テュエステス」『セネカ悲劇集 2』(共訳) 京都大学学術出版会 1997年

『ローマ喜劇集 1』(共訳) 京都大学学術出版会 2000年

『キケロー選集 2』(共訳) 岩波書店 2000年

『キケロー選集 1』(共訳) 岩波書店 2001年

### 益田朋幸 (早稲田大学文学部助教授)

専門分野：ビザンチン美術史

主要刊行物：

#### 著書

『西洋美術館』小学館 1999年 (共編著)

『描かれた時間』論創社 2001年

Illustrations of Codex 587 in Dionysiou Monastery on Mount Athos,  
Contribution for the Study of the Byzantine Lectionaries (in Greek), diss.,  
Thessaloniki University, 1990

#### 論文

「ディオニシウ・レクシヨナリーの寄進者 - 十一世紀コンスタンティノポリス  
における女性のパトロン活動」『美術史研究』30 1992年

「ビザンティン写本挿絵におけるヨハネ福音書冒頭部分の絵画化」『美學』172  
1993年

「仏陀の顔をしたキリスト - 仏教美術西漸に関する一考察」『佛教藝術』220  
1995年

“Picturization of John 1:1-18 in Byzantine Manuscript Illustration”,  
AESTHETICS 6, The Japanese Society for Aesthetics, 1994

“Greek Inscriptions in the Oludeniz-Gemiler Ada Bay Area”, The Survey of  
Early Byzantine Sites in Oludeniz Area (Lycia, Turkey). The First  
Preliminary Report, ed. by Sh. Tsuji, The Bulletin of the Faculty of  
Letters, Osaka University, 35, 1995

“Monuments on Gemiler Ada and Karacaoren Ada”, The Survey of Early Byzantine Sites in Oludeniz Area (Lycia, Turkey). The First Preliminary Report, ed. by Sh. Tsuji, The Bulletin of the Faculty of Letters, Osaka University, 35, 1995

“A Lectionary of the Emperor Andronicus II Palaiologus”, Byzantium. Identity, Image, Influence. Abstracts. XIX International Congress of Byzantine Studies, Copenhagen, 1996

## 客員研究員

ジュゼピーナ・チェルッリ（早稲田大学講師・元東京イタリア文化会館館長）

専門分野：ローマ考古学

アントニオ・サルトーリ（ミラノ大学教授）

専門分野：碑文学

シュテファン・シュタイングレーバー（前東京大学教授）

専門分野：エトルリア学

金 昺賢（高麗大学教授）

専門分野：ローマ史

篠塚千恵子（東北芸術工科大学教授）

専門分野：ギリシア美術史

根占献一（学習院女子大学教授）

専門分野：ルネサンス史